

創刊号  
はるなつ号  
**TAKE  
FREE**

## 九州の 川遊び情報募集中！

九州の川で色々な活動をしている皆様  
九州「かわとも」編集部まで  
ぜひ情報をおよせください。  
お待ちしております！

### ばんじょうがわ 番匠川 のご紹介

幹川流路延長 38 km  
流域面積 464 km<sup>2</sup>  
流域内人口 約 57,000 人

大分県佐伯市の三国峠を水源とし  
佐伯湾へそそぐ38kmの  
九州で5本の指にはいるキレイな河川です。  
「番匠川」という名の由来は大きく3つあり、  
番匠橋を架けた番匠大工棟梁益右衛門  
(ばんじょうとうりょうえきまもるもん) にちなんだ説、  
大工のもつ折尺のように曲がりくねっているという説、  
佐伯城下への関門にあたる川辺の番匠という集落から  
名付けられたという説があります。

九州  
かわとも

川遊び情報誌  
九州かわとも「やっぱり川へ行こう！」

2019年初刊 春号 (vol.1)  
2019年4月1日発行

編集発行：「九州かわとも」編集部  
事務局：九州河川協力団体連絡会議

## 特集.1

「ぼくらは川ガキ」夏の川遊び大集合！

## 特集2

「九州川の先駆者たち。夢を語る」

## 九州・川の活動団体紹介 Part.1

川遊び情報誌  
「やっぱり川へ行こう！」





## 川がゆうえんちになる日

リバーフェスタ in みくま川  
筑後川流域／大分県日田市

日本三大美林のひとつに称される大分県日田市。筑後川上流部に位置し、江戸時代は幕府直轄の「天領」として栄えた林業・木工業のまちです。九州一の大河に「筑後川」という名が根付くよりも遥か太古から、この地の人々は故郷を貫流する清らかな流れを「三隈川」と呼び、暮らしに生業に活かしてきました。ある人は材木を筏に組んで下流まで輸送する「道」として。また、ある人は「響鮎」を捕らえる漁場として。子供たちはその流れの中で生きる力や人間関係を学びました。そして、今日、水利用の多様化や川に注ぎ込む物の変化が著しい中で、地元住民は行政とスクラムを組んで水を守り、水を活かした地域づくりを推進しています。当地は国土交通省より「水の郷百選」の認定を受けています。その象徴の一つがリバーフェスタ in みくま川。遊園地のようなワクワク感あふれるイベントには、毎年日田市内外から多くの参加者が集まります。

第24回リバーフェスタ in みくま川

日時：2019年8月25日（日） 場所：亀山公園・みくま川公園（いずれも大分県日田市）

問合せ：リバーフェスタ in みくま川 実行委員会  
事務局 タカクラタカコ（090-2395-4593）

## Contents

・川がゆうえんちになる日	P1
・九州河川情報誌の発刊によせて 巻頭言	P2
・ぼくらは川ガキ 夏の川遊び大集合！	P3~6
・流域風物詩自慢 春よコイ！春はコイ？	P7~8
流域じまんの鯉のぼりまつり	
・流域味じまん 熱いダムカレーで「治」める九州の猛暑	P9~10
・菊池川流域 郷土自慢	P11~12
・河川協力団体の活動紹介	P13~18
・世代 地域 人をつなぐ 九州「川」のワークショップ in 緑川	P19~20
・九州川の先駆者たち 対談	P21~24
・編集後記 賛助企業一覧表	P25~26

## メッセージ

### 「九州河川情報誌の発刊によせて」

九州河川協力団体連絡会議  
相談役 金尾 健司



九州河川情報誌の創刊おめでとうございます。この情報誌が川に関わる市民、企業、行政の情報共有のプラットフォームとなることを期待しています。

河川管理における市民連携については、今から20年ほど前に、当時の河川審議会等の場で盛んに議論されました。それから15年経った平成25年の河川法改正において、ようやく「河川協力団体制度」として形になりました。市民団体が、法の下で、役割分担を明確にした上で河川管理者と連携しながら河川管理の一翼を担うことができるようになり、この課題に関わってきた関係者にとっては一つの到達点となりました。

さて、仕組みはできましたが、そこに魂を入れなければなりません。もともと九州では、川に関する市民活動が盛んで、河川管理に携わる行政もそれに引っ張られる？ように両者の連携がうまく図られてきたと思います。そういう下地があって、河川協力団体制度が比較的抵抗なく受け入れられたのではないのでしょうか。また、流域といったまとまりでの市民活動同士の連携も盛んです。このようなことから、全国に先駆けて平成27年に、河川協力団体同士が情報共有し河川管理者と意見交換を行う等の活動を目的として、「九州河川協力団体連絡会議」が発足しました。私も大変光栄なことに、その発足の場に立ち会うことができました。この連絡会議の活動は、個性豊かで魅力あふれるリーダーの方々のご尽力もあって、大変活発です。特に、昨今の市民活動が抱える世代交代という課題に正面から取り組んでいます。そして、今では若いリーダーの方々も元気一杯に活躍されています。

河川協力団体制度ができてから5年が経過しました。制度を運用する中で、団体の活動範囲が河川の区間で限られていることや河川管理者との委託契約がうまく進まないことなど、様々な課題が浮き彫りになってきていると思います。また、ミズベリングなど河川・水辺活用の新しい潮流も現れています。これからも、河川管理者との連携をより一層密にして、既存制度の改善や将来の河川管理のあり方などについて議論し提言を発信するなど、この連絡会議の活動がますます発展することを期待しています。

### 「ごあいさつ」

九州河川協力団体連絡会議  
代表 中村 周二



河川協力団体の情報誌の発刊にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

予てより川を愛する皆さま方と共に活動できますこと、心より感謝申し上げます。

九州河川協力団体の活動も初代代表の濱崎に始まり5年目に入っております。初代がつくった基盤を着実に実行していかなければならないと考えておりますが、早速平成30年度は、次世代講習会を中心に九州の河川事務所の方々と共に取り組んでおります。次世代は、交流を深めながら団結し、意欲的に活動しています。

また、圏域会議では河川協力団体を中心に河川に関わる人々と手をつなぎ、その河川の魅力を最大限に出していけたらと考えております。

さて、今回の情報誌は、皆さまの投票で「九州 かわとも」と名称が決まり、次世代のメンバーを中心に制作いたしました。各協力団体の情報を収集し、会議を重ねていく中で、2刊3刊と素晴らしい情報誌となり今後ますますの九州河川流域の活動の輪が拡大し魅力あふれるものとなりますよう祈念しご挨拶とさせていただきます。

ぼくらは  
**川ガキ!**  
夏の川遊び  
大集合!

九州じゅうの河川で川あそび!  
元気いっぱい な子どもたち  
君も『川ガキ』になって夏を楽しもう!

せんだいがわ  
[伊勢市菱刈カヌー競技場] **川内川**

SUP (stand up paddle board) の体験活動に人気が出てきています。  
水に触って、水上を散歩する体験を通して  
「川」で安全に遊ぶ方法や水難救助方法など考えるきっかけを作っています。

問い合わせ先 P15  
活動場所 P18 **14**

いっちに!さんし!  
あともうすこし!



**サップ** であそぶ川ガキ  
スタンドアップパドルボード  
サーフボードより少し大きめの板  
安定感があるから立つのもカンタン!

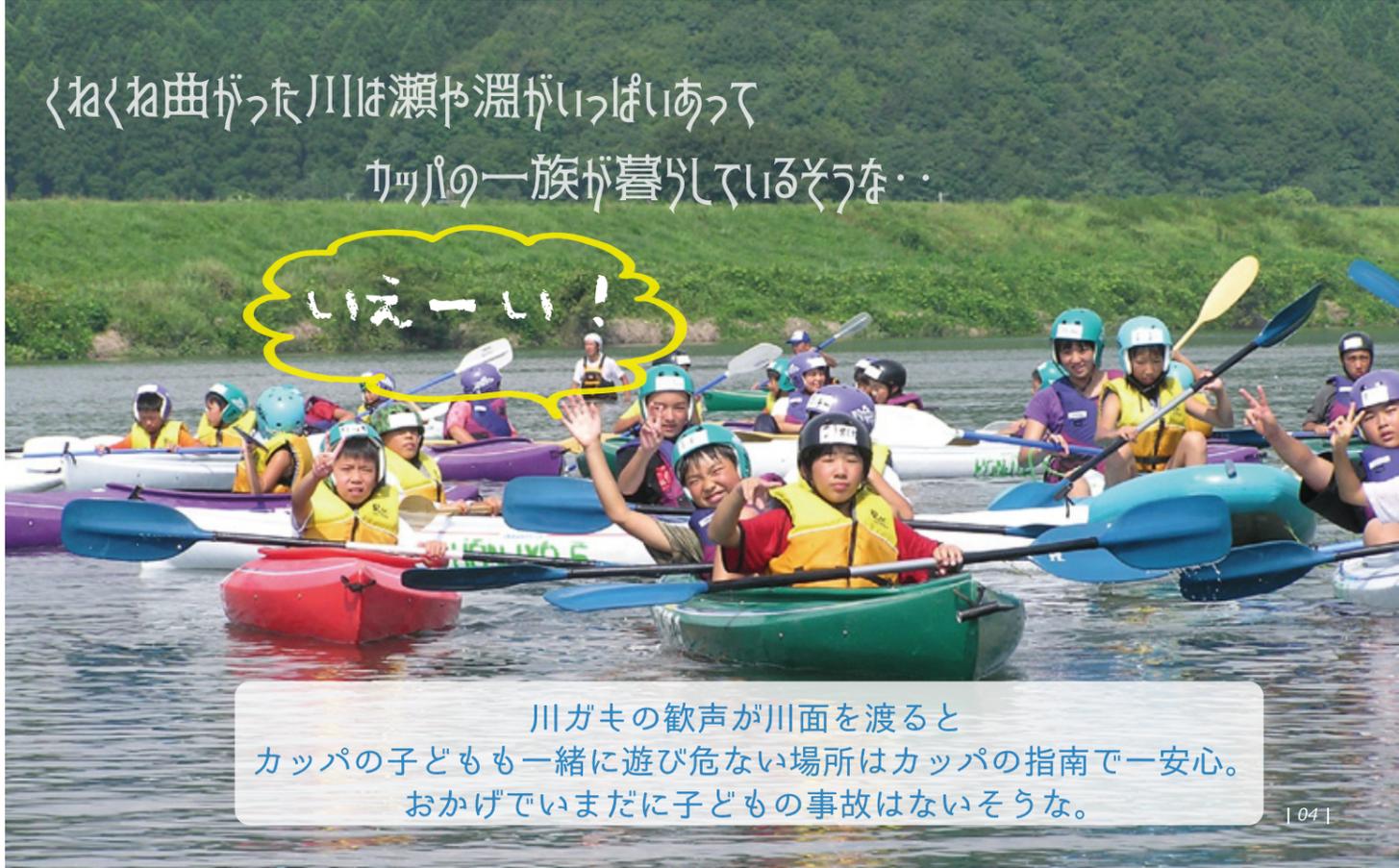
こ かせ がわ  
**五ヶ瀬川** 問い合わせ先 P15  
活動場所 P18 **10**

子ども達を中心になって2日間で作った「藁舟」  
勤の良い子は友内川横断の帰りにはまっすぐにこいでいます



五ヶ瀬川流域ネットワーク

ばんじょうがわ  
**番匠川** 番匠川流域ネットワーク  
九州の中でも小さな川です。くねくね曲がったこの川は淵の底まで  
見える透明度を持ちどこからでも川に近づけて子ども達にも優しい清流です 問い合わせ先 P15  
活動場所 P18 **8**



くねくね曲がった川は瀬や淵がいっぱいあって  
カッパの一族が暮らしているような...

川ガキの歓声が川面を渡ると  
カッパの子どもも一緒に遊び危ない場所はカッパの指南で一安心。  
おかげでいまだに子どもの事故はないそう。

川流れ プーカプカ  
うかんでながれて



問い合わせ先 P15  
活動場所 P18 14

せんだいがわ  
川内川

プーカ

ひっ翔べ！奥さつま探検隊

問い合わせ先 P16  
活動場所 P18 16



みーんな 楽しそう！



goodnews 筑後川

発包スチロール  
のお船で川流れ



おんがかわ  
遠賀川 NPO 法人直方川づくり会  
遠賀川水系では一部の支流を除けば投打網可！

人生初めての獲物は...

ボウズとは？  
魚取りや釣りのとき  
魚が一匹もとれないこと

そこそこ開けばボウズ無し

問い合わせ先 P14  
活動場所 P18 3

みどりかわ 加瀬川開発研究会  
緑川 問い合わせ先 P16  
活動場所 P18 20

なかむたこうもん  
中無田閘門（船の為のゲートにて）  
動水圧を体験中！



水の流れてすごい力なんだね！

しっかりとロープをつかんで水圧に耐えています  
中には流されてしまう人も...



ちいさくて  
かわいかな〜

なんて魚かな？

直方川づくりの会



うわあ！  
逃さないぞ！

さかなつかみ取り大会  
ひっ翔べ！奥さつま探検隊

何がいるかな？  
さかなとり

いのちを  
まもる

川遊びのふくぎ

ヘルメットやぼうし  
は日差しを避けるだけでなく  
事故のときに  
頭を守ってくれるよ！

またま

ライフジャケット  
流れの中での活動  
でも体にしっかり  
フィットして  
脱げにくく、しっかり  
とした作りのものを  
えらぼう！

からだ

ましもと

川の中に入る時には  
流れて脱げないように  
ベルトやかかとのある  
靴をえらぼう。  
アクアシューズなども  
適しているよ！

カッコイイ〜！

# 春 よコイ！春はコイ？ 流域じまんの鯉のぼりまつり

写真提供: 鶴木和博



## 筑後川・杖立温泉鯉のぼり祭り

開催日: 4月~5月初旬 場所: 熊本県阿蘇郡小国町・杖立温泉 うたてるせん

全国で開催される鯉のぼり祭りの発祥といわれ、毎年3,500匹の鯉のぼりが筑後川支流杖立川を泳ぎます。河畔の杖立温泉は、平安時代に弘法大師空海も訪れたとされる名湯。肌にうれしい天然の保湿成分といわれる「メタケイ酸」を多く含み、肌なじみがいいお湯といわれています。

●アクセス: JR 日田駅から日田バス「杖立行き」に乗車。「杖立温泉」下車。車の場合は、大分自動車道「日田IC」から約40分。

■筑後川じまん 筑後川は、熊本・大分・福岡・佐賀の4県を流れる九州最大の1級河川。源を熊本県瀬の本高原源を發し、多くの支川を合わせながら肥沃な筑紫平野を貫流し、有明海に注ぎます。流域内人口は約109万人。九州北部における社会、経済及び文化活動の基盤をなし、古くから人々の生活及び文化と深い結びつきを持っています。杖立温泉の他、黒川、原鶴等、流域全体に数多くの温泉地を有しています。



## 嘉瀬川・川上峡春まつり

開催日: 3月下旬~5月下旬 場所: 佐賀県佐賀市大和町官人橋付近 かんじんばし

毎年、市民から寄贈された鯉のぼりが嘉瀬川の空を泳ぎます。新緑の川上峡と、美しいトラス構造の赤い官人橋、そして色とりどりの鯉のぼり。祭典ならぬ「彩典」と呼ぶに相応しい春まつりです。期間中は屋形船の運行や、子どもの水難除けを願う「ひゃあらんさん祭」等も開催されます。

●アクセス: JR 佐賀駅バスセンターからバスで25分。川上橋バス停下車。車の場合は、長崎自動車道 佐賀大和ICから車で3分

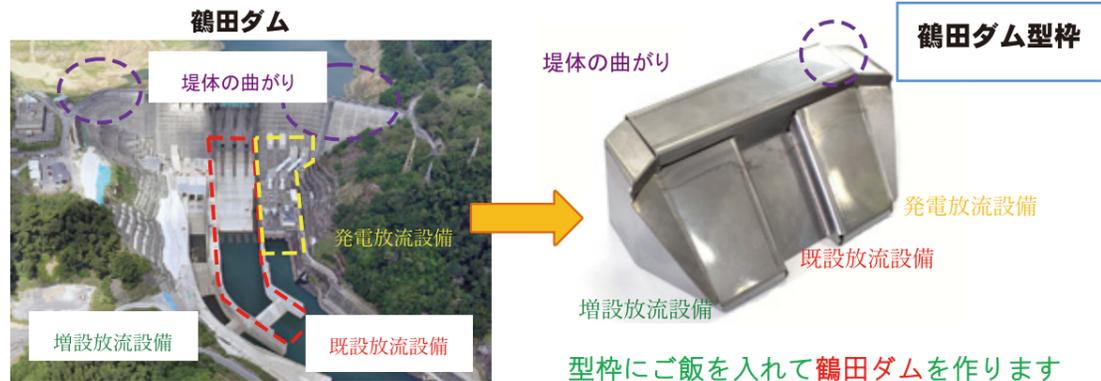
■嘉瀬川じまん 嘉瀬川はその源を佐賀県脊振山系に發し、佐賀平野を南流して有明海に注ぎます。県都佐賀市を含む3市を流れ、社会、文化、経済の基盤をなす極めて重要な河川です。古くから治水、利水事業が行われ、中でも成富兵庫茂安(1560-1634)が造った石井樋が有名。秋には佐賀市内の河川敷で「佐賀インターナショナルバルーンフェスタ」が開催。世界中から競技者が訪れます。

# 暑いダムカレーで「治」める九州の猛暑

「新聖地」さつま町で  
19店を食べ歩き



鶴田ダム型枠紹介



## 鶴田ダムカレー — 川内川流域・鹿児島県さつま町 —

鶴田ダムは川内川河口から約51km上流に位置する重力式コンクリートダム。堤高117.5mは同式のダムでは九州一の高さです。下流を洪水から守る治水と、水力発電の役割を持ちます。地元さつま町では、ダムカレーで地域を盛り上げようと19店舗が一斉発起。鶴田ダム管理所の協力で、堤体を模したライス型を開発。各店舗の統一感を持ちつつも、ルーや具材で各店の持ち味を発揮。「食べ歩き」を存分に楽しむことができます。

■川内川じまん 川内川は、熊本県の白髪岳を源流として、宮崎県を通過し薩摩川内市から東シナ海に注ぐ、九州で2番目に長い川です。伊佐市には、2020年に開催されるかごしま国体の競技会場となるカヌー競技場や艇庫、トレーニング施設が整備され、カヌーによる人づくり、街づくりの新たな名所となっています。

洪水から人々の暮らしを守り、豊かな水の恵みを暮らしにもたらずダム。治水・利水以外にも、発電や砂防、色々な目的をもったダムが九州各地に数多くあります。そのダムを模したカレーが昨今注目をあびています。ライスを堤体に、カレーをダム湖に見立てたダムカレーは、新しい水辺のグルメ。みなさんも食べ歩きをしてみませんか？

高さ日本一の  
複合式ダムを再現



## 竜門ダムカレー — 菊池川流域・熊本県菊池市 —

竜門ダムは菊池川支流迫間川の上流に位置しています。重力式ダムとロックフィルダムの複合形式の多目的ダムでは日本一の高さ99.5mを誇ります。熊本県北部の水がめとしての役割と、洪水から下流の街を守る目的を持っています。同ダム湖畔の RonRonkan(ロンロン館)で提供される竜門ダムカレーは、重力式ダムを白米で、ロックフィルダムを五穀米、斑蛇口湖をカレーで表現するなど、さながら「食べられる立体模型」といった出来栄の良さです。

■菊池川じまん 菊池川は、熊本県阿蘇市に発し、阿蘇外輪山の溪流をあつめ菊鹿盆地、玉名平野を貫流し、有明海に注ぎます。流域内には菊池温泉、山鹿温泉、菊池溪谷等の観光拠点があり、九州内外から多くの観光客が訪れています。

# 川を守り 川を育て 川を使う

私たちは大好きな九州の河川で活動しています！

川の活動に参加してみませんか？

九州では、44団体が河川協力団体として活動しています。  
年間10万人以上の住民と交流し、河川管理者のパートナーとして、  
川と人との繋がる活動を進めています。

相乗効果！

河川管理者の目的

洪水などの災害防止  
河川の維持管理、適正利用  
河川環境の整備と保全



河川協力団体の目的

河川空間を利用した活動  
環境学習  
環境美化

想いを共有

河川協力団体とは・・・  
河川の維持、河川環境の保全などの河川の管理につながる活動を自発的に行っている民間団体等を『河川協力団体』として法律上位置付け、河川管理者と河川協力団体が充実したコミュニケーションを図り、互いの信頼関係を構築することで、河川管理のパートナーとしての活動を促進し、地域の実情に応じた河川管理の充実を図ることを目的として制度化されました。

あゆまち

詳しくは、団体名で検索してね！

- 問** お問い合わせ先
- M** メールアドレス
- t** でんわ番
- fax** ファックス番
- tf** でんわとファックス兼用の番
- f** フェイスブック
- hp** ホームページ



福岡県  
2  
さきおがわ  
筈尾川水辺の楽校運営協議会

小学生には、カヌー教室、水質試験、水生生物調査、みずしるべ等を、幼稚園児には、サケの放流大会を中学生による橋脚の壁画制作も実施。



福岡県  
3  
NPO 法人 直方川づくりの会

～川と海をつなぐ多自然魚道～  
生き物調査隊は夏に河口堰にある多自然魚道で生き物調査を行っています。  
ここでは川と海を行き来する生き物について学びます。

**問** 遠賀川水辺館 **tf** 0949-22-1810 **f**



福岡県  
4  
たがわ  
田川ふるさと川づくり交流会

毎年7月に田川市教育委員会と共催でカヌー教室と環境学習を兼ねたタガツパ学校を開校しています。  
カヌーの他にも投げ網による水生生物調査や水質検査、透視度検査など楽しく学んでいます。

**t** 0947-44-0568 **fax** 0947-44-0596 **f**



大分県  
5  
NPO 法人 耶馬溪の自然と景観を守る会

耶馬溪を訪れる方々に四季を通じて楽しんでいただけるよう、ダム周辺や下流河川での景観美化活動や啓発活動等に取り組んでいます。  
活動に興味のある方、大歓迎です！

**tf** 0979-54-2552



大分県  
7  
おとこがわ  
乙津川水辺の楽校運営協議会

毎年4月～10月の期間は、カヌー体験を行って、楽しみながら河川環境の大切さを学ぶしくみづくりをしています。体験したい方を募集中！親子で体験できるカヌーはお勧めです。

**問** 事務局 **t** 090-7985-4958

# 加藤清正と菊池川

筆／古賀河川図書館主宰 古賀邦雄

菊池川は、阿蘇外輪山の深葉国竹林に源を発し、迫間川をはじめ七つの支流を集め有明海に注ぐ一級河川である。本流の延長 71km、流域面積 996km<sup>2</sup>、流域内には、菊池、山鹿、玉名の 3 市 16 町 2 村、約 31 万人が暮らしている。

加藤清正は永禄 5(1562)年名古屋に生まれ、豊臣秀吉と徳川家康に仕え、北肥後藩 24 万石の領主として、今日の熊本の基礎を築いた人である。慶長 16(1611)年に逝去。当時は西肥後は小西行長が治めていた。清正後、行長の分も含めて細川肥後藩 54 万石となる。天正 15(1587)年佐々成政に代わって、肥後へ入った清正は、小踊りして大変喜んだ。それは、豊穡な山と川と海に恵まれていたからである。家康が利根川の関東に移封

された心境と同じであったろう。両者は優秀な土木技術者でもある。

清正は国富の源泉である菊池川、白川、緑川、球磨川の存在に、直ぐに国造りを思いめぐらした。天正 15(1587)年～慶長 16(1611)年の 24 年間の統治において最も力を注いだのが 4 つの河川の治水・利水事業である。公共事業は農閑期に行われ、男女を問わず徴用するため、給金が支給されたから、領民は大喜びである。今でも「清正公さん」と親しまれ、各地域には加藤神社が祀られ、清正の人気は続いている。清正の菊池川の川づくりについて追ってみた。

① 菊池川を付替え、干潟を新田に。当時菊池川は、桃田(現・玉名市大倉)から南に曲がって伊倉の西を通り、横島町横島と天水町久島山の間を通

って有明海へ注いでいた。清正は大川を西の方へ直流する形にもっていき、旧菊池川は唐人川として川幅を減じた。久島・横島の上に石碑を築き、干拓事業にのり出し、朝鮮出兵、関ヶ原の戦いもあり、17 年を費やした。この干拓により玉名市の南部八ヶ村が新しくでき、水田は清正の時だけでなく細川も含めて水田 870ha の小田牟田新地と生まれた。

②防波堤を築く。旧河口に石塘の難工事。

旧菊池川の河口部の処理は難しく、清正は横島山の東端と対岸の久島山(天水町)との間に石塘を造り、この干拓の潮留にした。難工事のために人柱を建てたという。その功績の讃えて現在石塘の上には清正を祀る祠(加藤神社)が建立されている。

③菊池川の掘り替え。

この石塘ができると、横島から貿易港伊倉津に遡ることが出来なくなり、大浜と小浜の間を菊池川の掘り替えを施工し、北牟田と大浜の間にも付け替えを行っている。

④新川・轡塘や石バネの治水対策。

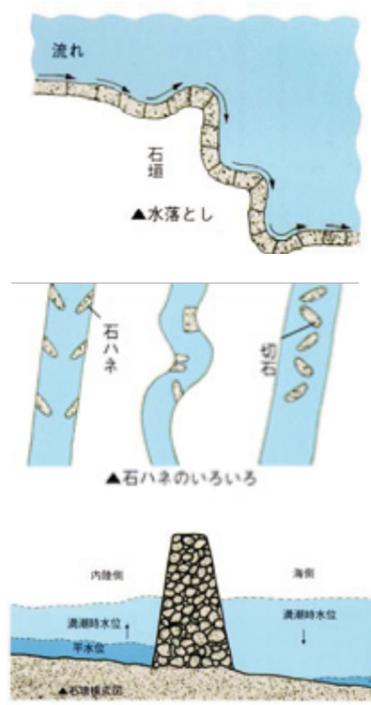
清正は菊池川河口の河川を付け替え、新菊池川にところどころに轡塘を築いている。轡塘は洪水に供えて川と堤防の間をある区間だけ広くとっておき、水を遊水させるもので、二重だけでなく、小島のように三重のものもある。ここには作物が植えられ洪水の時には、洪水を軽減させる。また、菊池川が蛇行するところには、数多くの石バネが設けられ水の勢いを和らげるシステムがなされている。

以上、加藤清正の菊池川の治水・利水事業について述べてきたが、いまさら、清正の偉大さに驚く。再度、菊池川をゆっくりと巡りたくってきた。(了)

(参考資料:建設省菊池川工事事務所編・発行『菊池川流域見聞録 菊池川』)



加藤清正公の像



清正の土木遺構



源流である菊池水源は「日本の名水百選」(環境省選定)にも選ばれた、とても美しい水だよ!



いいね!

## 日本遺産の稲作

菊池川流域には、二千年前から続く稲作の歴史が条里と呼ばれる区画割や、山間部の用水や棚田等に見られます。2017年には、「米作り、二千年にわたる大地の記憶」として、日本遺産に認定。33の構成文化財の筆頭に、米作りに必要な清らかな水をもたらす菊池川が登録されています。



昭和 30 年代の白石堰の写真(上)と、現在の白石堰(左)

日本のマラソンの父  
かなくりし そう

## 金栗四三と菊池川

テレビドラマの放送で、脚光を浴びている金栗四三は、菊池川流域の玉名郡春富村(現・和水町)に生まれ育ちました。当時のマラソン世界記録を大幅に更新し、「日本のマラソンの父」とも呼ばれる四三は、支流の遠野川沿線を含む往復 12km を走って通学し、鍛錬を積んだと言われていいます。御親族によると、白石堰の風景を好んでよく眺めていたそうです。故郷の和水町には、彼の足跡を知ることができる記念館が開館。新名所として話題を集めています。



ほんしよがわ  
番匠川流域ネットワーク

いよいよ水と親しむシーズンとなりました！  
賑やかな番匠川がやってきます。  
子供たちの歓声が響く地域の活動を支援します。  
事務局：佐伯市弥生上小倉 898-1  
☎ 0972-46-5922 ☎ 0972-46-0129



つる  
津留地区ふるさとづくり運動推進協議会

津留地区は大分川と裏川に囲まれた三角州で、川への関心が高く年間を通じて地域の清掃・美化活動に取り組んでいます。  
目指すのは 三世代を通じた息永い活動です。  
☎ 097-558-4014 ☎ 097-504-3500



NPO 法人 ひっ飛ばせ！奥さつま探検隊

「泣こかい、翔ぼかい、泣こよっか、ひっ飛ばせ！」の精神のもと川内川とおおつるこ大鶴湖を拠点とした川遊びや自然体験活動で地域活性化を目指しています。  
☎ ☎



NPO 法人 かのやコミュニティ放送

鹿屋市のコミュニティラジオ局が美しい肝属川を取り戻すために地元の勇者（ボランティア）と共に毎年7～8月は清掃活動を実施。そのほかイベント  
☎ FMかのや ☎ 0994-35-4111  
☎ http://www.772fm.net/ ☎ かわいいproject



こがせがわ  
NPO 法人 五ヶ瀬川ネットワーク

設立 17 年目「リバーパル五ヶ瀬川」を基地に、子ども達と干潟の生物観察、カヌースクール、川の安全教室などの様々な川での活動や、地域や流域と連携したまちづくり活動などを行っています。  
☎



おおよどがわ  
NPO 法人 大淀川流域ネットワーク

大淀川を昔の姿に戻すことを目的として、様々な活動を行っています。県内外の技術者を対象の多自然川づくりの人材育成と地域の子供たち対象の環境調査や体験型環境学習会など盛り沢山です。  
☎ ☎



がせがわ  
加勢川開発研究会

「子どもに夢を！お年寄りに生きがいを！会員にやりがいを！」をモットーに幅広い世代が参加できるイベントを計画。川漁のおもしろさや川の大切さを教え、川に親しむ活動をしています。  
遊びにおいで～！！ ☎ ☎



NPO 法人 みずのとらべる隊

カヌーや炭焼きにブッシュクラフトなど、緑川水系加勢川で五感をフルに使って体験！自然と自分(人間)や環境に興味と気づきを持ってもらえるような活動を提供。  
☎ ☎



みやこのじよよどがわ  
NPO 法人 都城大淀川サミット

H22 年 11 月に「都城大淀川サミット」を結成しました。写真は、大淀川子どもサミットのニジマスつかみ取りの様子です。(毎年 8 月第三日曜日開催)  
☎ 0986-23-0333 (マツシタ)  
☎ r-nasu@hotmail.com (ナス)



せんだいがわ  
川内川流域連携ネットワーク

夏は川内川にカモ～ン！SUPやカヌーと一緒に遊ぼうよ！ライフジャケットを装着して、水辺で楽しく安全に遊ぶ体験を実施しています。  
☎ jack tar (ハシキ) ☎ 090-4485-2731



くまがわ  
球磨川ツクシイバラの会

「ツクシイバラ」は南九州独特の野イバラで球磨川のほとりに自生しています。  
かつては絶滅危惧種に指定されていたこの花を守るために、除草や美化作業、開花時の 5 月中旬から約 1 か月間の週末にお茶と漬物でおもてなし等様々なイベントを開催しています。  
☎



きくちがわ  
菊池川流域連携会議

『菊池川流域の水を飲めるようにするには』を合言葉に 菊池川流域で様々な地域活動を行っています。情報の共有と発信をして流域全体の活性化と持続可能な社会作りに挑戦しています！



ちくごがわ  
NPO 法人 筑後川流域連携倶楽部 30

九州一の大河筑後川の恵みに感謝し、人々の交流を深めていくことを目的に筑後川フェスティバルの開催や流域の情報誌を発刊するなど、流域110万人をつなぐ様々な活動を実施しています。

HP Facebook くるめウス



リバーフェスタにおいでよ  
おもいっきり遊んじゃおう！  
NPO 法人 ひた水環境ネットワークセンター 31

“子供たちに泳げる川を！”を合言葉に、この筑後川で繋がる方々と共にまちづくりの応援団として活動。8月の最終日曜日に子供から大人まで楽しめるイベント「リバーフェスタ in みくま川」を開催。

HP Facebook

子供たちの笑顔が輝く未来のために繋げよ



Good News 34

Good Newsは立ち上げから10年毎月、頼もしい仲間と筑後川のゴミ拾い活動を実施。活動のあとは、水辺でやってみてみたい楽しいことにチャレンジ！一緒に活動しませんか？

HP Facebook <https://www.facebook.com/makegoodnews/>



NPO 法人 アサメの会 36

川と人との絆を深めるため、子供から大人まで川の生き物とふれあいながら、武雄河川事務所や九州大学との連携を図り、素晴らしい自然を次世代に継承していく活動をしています。



かせがわ  
NPO 法人 嘉瀬川交流軸 38

嘉瀬川にある防災施設・さが水ものがたり館を拠点に、水の神様・成富兵庫茂安の治績の紹介、小学生の郷土学習の支援、体験学習、嘉瀬川ダム感謝祭などの上下流交流を行っています。問 さが水ものがたり館

HP <http://www.sagamizu.jp>

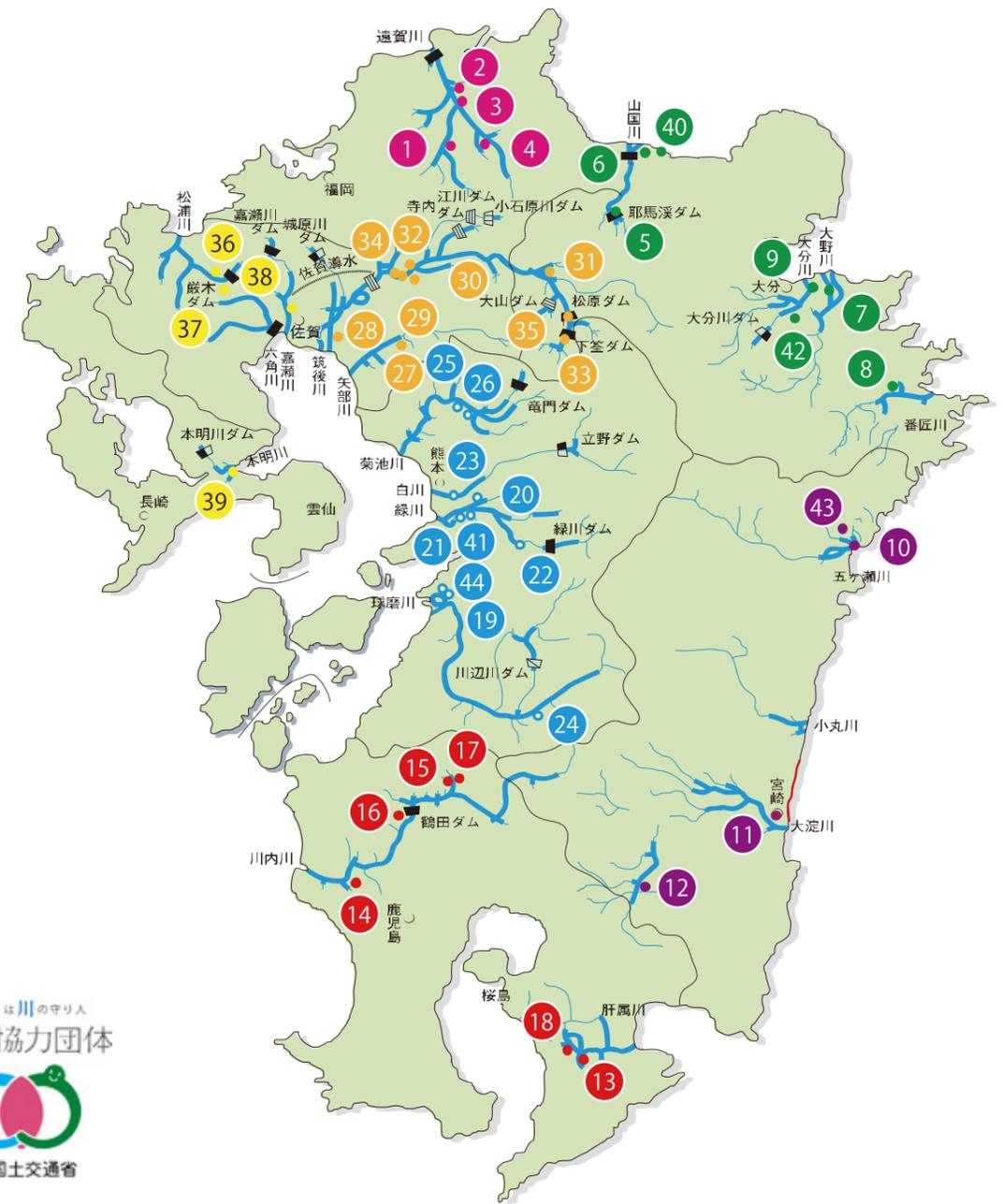


NPO 法人 水辺に遊泳会 40

大分県中津市に広がる中津干潟の保全団体です。四季を問わず地域の自然に親しむ観察会を開催。ビーチクリーンや生物調査なども行っています。

HP

# 九州の河川と河川協力団体活動マップ



## ◆ 次号紹介の団体一覧

1	NPO 法人 遠賀川流域住民の会	6	NPO 法人 レスキュー・サポート九州
13	始良川河川愛護会	15	NPO 法人 バイオマスワークあったらし会
17	NPO 法人 水と地球	19	次世代のためにがんばろ会
21	NPO 法人 天明水の会	23	NPO 法人 白川流域リバーネットワーク
26	菊池川育てねっと	27	矢部川をつなぐ会
28	NPO 法人 大川未来塾	29	筑後川まるごと博物館運営委員会
32	一般社団法人 北部九州河川利用協会	33	NPO 法人 下笠ダム湖と森の会
35	松原ダム湖面環境推進委員会	37	自然と暮らしを考える研究会
39	NPO 法人 拓生会	41	緑川の清流をとりもどす流域連絡会
42	ななせ交流会	43	NPO 法人コノハナロード延岡市民応援隊
44	NPO 法人球磨川アドベンチャーズやつしろ		

# Surface! ~RiverCrewの肖像 vol.1~



YOSUKE TANAKA  
**田中洋丞さん**

緑川流域開発研究会代表事務局

## きっかけは「川の達人」養成講座

記者 田中さんは、子供の頃からよく川で遊んでいたのですか？

田中 学校では「川に近づいてはいけない」と言われていたので、大きな川ではあまり遊びませんでしたね。でも釣りは好きでしたよ。家の周りが田んぼだったので、近所のお兄さん達と井出（水田に水を引く為、川の流れをせき止めた場所）で魚釣りをして遊んでいました。

記者 どういうきっかけで川との距離が近くなったのですか？

田中 中学の時に知人から、魚の取り方や船の操作方法を学べる体験

講座「川の達人」に誘われました。小学校での「近づくな」の指導が当たり前だと思っていたので「え？1級河川のような大きな川で遊んでいいんだ!？」と、少し驚きました。でも、紹介してくれた人からはよくカヌーのイベントに誘われていたので「これも楽しそう!」と思いましたね。ちょうどルアー釣りも流行していた頃で、投網で魚が取れると言うので、興味が湧き参加することにしました。その主催団体が「加勢川開発研究会」だったのです。

記者 現在、事務局を務められている団体ですね。そのまま入会をされたのですか？

熊本県のほぼ中央部を貫流し、有明海に注ぐ1級河川「緑川」。加藤清正公の治水事業の遺構が今なお継承され、豊かな自然の中に、歴史・文化・多様な生物が共存しています。そんな故郷の川を住民と行政が一体となって守っていくと、昨年「緑川流域会議」が誕生。流域全体の合意形成の旗を振る代表に抜擢されたのは、30代の青年でした。もうすぐ代表就任1年を迎える田中洋丞さんに、川に対する思いやこれからの夢について、お話を伺いました。



肥後流の投網を継承している。

田中 入会!?!えーっと…講座の申し込みはしましたが、入会届を出した記憶がなく…。気づいた時には今のよう状況に(笑) 船の免許を取った後は川下りの船頭をしたりしていました。

## 加勢川流域に夢と生きがいを

記者 人を引き込む魅力のある団体なのですね。具体的にはどんな活動をされていますか？

田中 加勢川開発研究会は、平成元年に設立された団体です。以前は生活の場、遊びの場であった加勢川から人が離れてしまひまし。その加勢川に少しでも人々を近づかせ、昔の姿

を取り戻したい。その為に「子どもに夢を」「お年寄りに生きがい」「会員にやりがい」をテーマに、子どもたちからお年寄りまで幅広く参加できるイベントを計画し、先輩方の経験を伝授しながら、子ども達に川漁の面白さや大切さを教え、川に親しむ活動を、主に緑川・加勢川をつなぐ中無田閘門を中心に活動しています。



子供たちの笑顔でいっぱいの中無田閘門

記者 伝統的な「投げ網」の技術を保存されているそうですね。

田中 舟打ちというのですが、基本は川船を4艘使い、川の両岸から中心に向かって船を操作して魚を追い込んだところで投網を打ちます。投網は地域により打ち方が色々ありますが、肥後流は二つ手取りです。江戸の頃、細川のお殿様が打ち手を江戸に連れて行ったそうで現在も細川流として肥後打ちが関東に伝わっているようです。

## 加勢川から緑川全域へ

記者 そんな中、昨年から田中さんの活動エリアが緑川全体に広がったそうですね。代表をされている緑川流域会議について教えてください。

田中 まず、緑川流域では各団体により緑川に関わる様々な活動が行われていますが、過疎化・高齢化、自然環境等の変化によりこれまでの活動の継続、新たな課題の解決を図ることが必要不可欠となってきました。

また、緑川では平成6年から流域一斉清掃が行われています。流域内でも定着しており、今後も継続が必要と思います。このような将来へ向けての流域づくりを目的に設立しました。偉大な先輩から「後はお前達に全て任せる」の言葉を戴き私が代表を務めさせて戴くことになりました。

記者 偉大な先輩の期待を強く感じますね。さて、環境も地域性も異なる、上流から下流までを連携する事は並大抵の事ではないと思います。設立にあたって苦労された事を教えてください。

田中 流域サミットを開催し、各首長の皆様、長年活動をされてこられた先輩方の協力を得て設立しました。設立と同じくらい継続する事も大変だと思えますが、将来に繋いでいきたいです。

## 一大イベントで掴んだ確信

記者 緑川流域会議には、現在ほどのような方々が参加をされていますか。

田中 3市6町からなる、「緑川改修期成会」、19の流域住民団体、国土交通省、熊本県です。官民一体となった、「流域連携」をさらに深め、緑川流域における課題の解決に向けた活動の展開と、情報の発信を目的としています。平成30年度は大きな行事として発足式、緑川フェスタ〜あそぼうさい〜、を行いました。それとタイミングよく九州「川」のワークショップの担当流域が緑川に決まりましたので、実行委員会は流域会議の若手メンバーを中心に運営にあたりました。

記者 九州「川」のワークショップは、九州中から河川で活動する団体が集う、年に一度のビッグイベントですね。熱気溢れた催しだったとうかがっています。



大成功を納めた九州「川」のワークショップ

田中 九州各地の河川で活動する様々な団体や学校、行政機関等が日頃の活動を発表し、交流を深める貴重な機会です。

企画運営は本当に大変でしたが、今まで流域を牽引してきた先輩方から御助言をたくさん戴き、緑川の魅力を九州中に発信する事ができたと思います。

## 緑川が地域や世代をつなぐ場に

記者 田中さんにとって、緑川はどのような存在ですか？

田中 私を育ててくれた大きな存在です。「遊びの場」「学びの場」ですね。川にちょっと遊びに来たつもりが、いつの間にかこういう形でインタビューを受けているという(笑)。

記者 水の神様に導かれている感じがしますね。最後に田中さんの今後の夢や思いをお聞かせください。

川が、「皆が集まれる場」になること。そして、緑川が地域や世代をつなぐ場になることが夢です。以前は、川は生活の場であり、遊びの場として、私達住民にとってとても身近な存在でした。現代では、人と川との間に距離ができてしまっていますが、川は今でも私たちに色々な恵みをもたらしてくれる存在です。この情報誌をご覧戴いた皆様、川へお出かけをして下さると嬉しいです。

(了)



### 活動のきっかけ

□田上：本日、九州で20年以上にわたって活動されてきました3名のレジェンドの皆さまに、これまでの活動の思いと次の世代を担う皆さまへのメッセージをいただきたいと思えます。

まずは、活動のきっかけや思いを聞かせてください。

□濱崎：きっかけとは、あくまでも地域づくり、まちづくりでした。いわゆる平成の大合併に対する地域の不安感があり、「がねんごとぶつぶつ言っとったって始らんたい。いっぺん寄って酒飲むぞ」と言ったのが立ち上げのきっかけです。夢を持ち続けた仲間とバカ言いながらやっていけたらというのが今の思いです。

□駒田井：大学の経済社会研究所長時代に学部長から筑後川流域の研究をやってくれと。当時、筑後川フェスティバルはお祭りで集まったらすぐに解散で、継続できる組織を作らなければいけないと。それで、筑後川流域連携倶楽部というNPO法人

を申請しました。やはり地方が元気を出さないとダメじゃないかと。そういう意味で流域。筑後川流域のブランド化が大事じゃないかと考えた訳です。

□野見山：きっかけは出会いです。みんな自分たちの地域を見直したらいいところがあるんじゃないかと一生懸命考え始めたのがきっかけで、女性が半数いる交流会が立ち上がりました。ここの決定的なことは女性が半分いるということなんですね。そして川づくりのことを勉強し始めた訳です。今までずっと夢を語ってきました。今からもずっと夢を語っていきます。

### これまでの活動への思い

□田上：これからのこと、先ほど話し足りなかったことなど、お話しいただければと思います。

□濱崎：何をやるにしても必要なのは、「友ですね。もう、これありきだと

思います。地域づくりと先ほど言いましたけど、何かやってみようと言ったのが発端だったんです。そういう時に熊日新聞さんが主催したふるさと環境会議に参加しました。サブタイトルが「アサリが消えた」というショッキングな。会場から海の現状、疲弊を招いたのは上流にいる自分たちにも責任があるのではないかと発言があった訳です。びっくりしました。そこからいろいろ話しをしている中で、山も大変なんですよ、ちょっと見に来ませんかと言われて山を見に行ったらわけです。こりゃおごつばいと。なんか手伝いができんかなと思ったのが、いわゆる漁民が山に木を植えた、漁民の森のきっかけになりました。その時に応援してくれたのが、一緒に動いていた友だちだったのです。



□田上：仕掛けは緑川ってうまかったですね。一斉清掃なんかも。

□濱崎：一斉清掃はですね。緑川の清流を取り戻す流域連絡会を立ち上げて、なんか統一行動をやった方がよからうということで、いちばん金がかからん方法が流域のゴミ拾いだったんです。1回目に何も人間が一斉清掃する時、2万人を超える人間が集まったもんですから、自治体がほっとかれなくなった訳です。俺たちにもな

んか手伝いさせろ、というのが、今の緑川の日の一斉清掃の流れです。

□田上：その時の団体とは元々知り合いでつながりがあったんですか。

□濱崎：緑川に清流を取り戻すために、心ある人はお集まりくださいと言ったら、相当数が集まりました。地域づくりで取り組んだところが生き残って今に。なんとかしたいという思いだけですね。今の自分たち、次の世代にいい形でつないでいきたいという思い。今のメンバーは立ち位置が違うでしょうけど、思いは一緒だと思います。

□田上：駒田井先生はまさに地域づくりですね。先ほどの筑後川ブランドということがだんだん良くなってきているように思いますけれども、これからの思いをお話しいただければと。

□駒田井：連携倶楽部がうまく出来たのも、いろいろな人のご協力があったこそ。最近では、例えば筑後川フェスティバル運営のお金をどうやっていくのが苦勞しているところです。寄付金を募らないといけないかもしれないですね。やはり、経済的な活性化とまちづくりはつながっていかないといけないことを感じています。

□濱崎：地域が活性化するためには経済的に潤わないと人は元気が出ないということがあります。今からの若い人たちは、我々のようなやり方は無理で、個人に負担をかけずに活動できる仕組みづくりだけでもやらないと

いけないというときに、河川協力団体制度ができました。非常にありがたい制度ではありますが、今後は運用の仕方ですね。今苦心してやっているところです。

□駒田井：筑後川流域でのいろいろな活動を筑後川プロジェクトと名付けました。うまく経済に結びつけるようなことをやるという組織というのが必要になる、ということで、社団法人筑後川プロジェクト協会立ち上げたのです。会長は実業家になってもらい、地元銀行にも相談して、いろいろやっていこうとしているところです。やはり、経済的に潤おうと思ったら、専門的に目利きの利く人と一緒にやっていかないとボランティア活動ではどうにもならないですね。

□田上：駒田井先生はいつ見ても生き生きといますね。

□駒田井：筑後川まるごとリバーパークということで、筑後川全体を一つのテーマパークとして考えて、モニターツアーをやっていたのです。10年前くらいに筑後川上流から下流まで4泊5日で歩くツアーをやっておもしろかったです。今年同じようなツアーをJTBが企画して、ガイド役の依頼がありました。

□田上：企画はJTBがやってくれるんですね。

□駒田井：我々はルートのアドバイスを提案して、ガイドをする。旅行会社と組まないですね。



□田上：野見山さんは九州の住民参加第1号で”ゆめプラン”を作られ、直方の水辺も大きく変わってきましたよね。非常に市民に親しまれる水辺になってきたと思うのですが、その点について、野見山さんの思いというか、これからの行政に望まれる点など、苦勞話も相当あるかと思うのですが、その辺も含めてお話しいただければと思います。

□野見山：苦勞話はどこも一緒にされてますから、私たちの苦勞もきりが無いぐらいありますが、地域の活動をしている住民（メンバー）は、本当に純朴でみんな自分たちの地域が大好きで、ふるさとが大好きで、自分たちの地域をもう少し見回してみようとなりました。そしたら何かいいことがあるのではないかとということで、考えてみよう。そういう小さいことだけど、意味は大きくて、それをまとめて、毎月1回勉強会をしました。勉強していくうちにだんだん地域すごいところで自慢できる、誇りを持てる地域になっていることに気づいて、それを次の世代に伝えたいなという熱い思いと、自分たちにできることはないかということでやってきました。本当に男性も女性もわがままで、交流会や定例会をやるたびに、いつもみんな言い

たいこと、わがままを言って、でもいつのまにか楽しい会で。言いたいことをいっばい言い合える仲間というのはすごかったと思います。次は若者たちに伝えたいということ、一生懸命やっていますが、自分たちの地域はいいところだと認識して、子どもたちが自分たちの川について勉強し、災害とか環境とかみんなで考えてくれるような若者がいっばい育ってきています。私たちは自信と誇りを持って川づくりに携わってきていますので、楽しいです。年寄りも若者もみんな夢です、夢がすごいです。



□田上:野見山さんは、川づくりは人づくりと言われて、それは本当に人が育ってきましたよね。子どもたちが大きくなって。大学卒業してもみんな遠賀川に帰って来るよね。

□野見山:日本の分布図に水辺館から出た子どもがどこにいるか、塗っています。

□田上:子どもたちを次々育てているのがモチベーションになっている。高齢になっても、自分の元気でいつまでも出来る川の活動はいいなと思います。

□田上:中村代表。今までのお聞きになっての感想と代表としての思いをお聞かせください。

### 若い人を育てたい

□中村:私の出発点は出身地菱刈町の名前を売りたいとまじめに地域づくりに取り組んでいました。ところが、お三方がいろんな思いをぶつけてくれたのがすごくためになって、まじめだけでは何もできないんだというのが分かりました。いろんなスタート地点があるのだけど、人がすごく好きでそして川が好き、これはみんな変わらないと思うのです。

今はとてつもない夢を描いていますが、今まで死ぬまでなんとか作ろうと思っていたことが解決しました。だから次の夢をもう描いているのですが、70才前になって、次の夢が描ける。これは、九州の国交省さんと一緒になって動いた雰囲気というのが、がすごく勉強になった。だからやっぱり若い人を育てたい。濱崎さんが次世代を育てようとする基本をつくっていただきましたので、流域の中で次世代の人がどんどん仕切っていくことができなければ、すごいことになるかなと。

先ほど駄田井先生がツーリズムと言われましたけど、今年高校総体、来年国体があるものですから、そのつながりをもって、国体後、川内川流域で旅行ができる体験ができる仕組みをつくらうかなという気持ちを持っています。これは次世代の人たちが引き継いで、やっていくことかな、今から、というのも思いましたね。

□駄田井:特にインパウンドだと、田舎が目目されるのではないのでしょうか。東京、大阪とかは逆に飽いて、やっぱり日本の田舎のいいと

こ、自然だとか文化とかいうのが注目される。

□中村:それはやっぱり、次世代に引き継がないかんですね。そしたら、活動資金にするというのができますから。

□田上:まだまだ園田さん、やることがたくさんあるようですね。

□濱崎:なんか宿題ばっかし

### 活動を続けていくときの魂の部分

□田上:皆さんのおかげで、本当に流域間、まさに流域間という感じで、濱崎さんが流域会議をやりましようと言ったところが始まったわけです。それがきっかけでこんな風に九州が大きくなって、こんな広がり生まれ、多分全国でもこういうふうな活動は、九州だけだと思うのです。御三方に、こういう活動を続けていくときの一番大事な、魂の部分を一言ずつお願いできませんか。

□濱崎:自分、己を一生懸命大事にする。そうするといかに周囲、友人が大切かというのが見えてきます。常識を良識で判断するのではなく、良識を形にしたのが常識であるという思いを持つこと。もう一つは指摘とお願いをしてはならないと。それにつきま

□駄田井:夢が大事なんじゃないかな。現実的なことは目の前のことばかり見て、案外実現しない。それよりも

## 子どもも大人もみんな夢を持とう。夢を語ろう。

夢のようなことをやっている方が実現したりする。

□野見山:やっぱり官民連携ですね。住民がやればやるほど、行政と一緒にかんでくれた方が、知恵も違うし、動きも違います。その中で夢はどんどん膨らんでいくんだと思います。

### 九州の若い人たちと、夢を語ろう

□田上:次の世代を担うというプレッシャーかけますが、園田さんから感想をお聞かせください。



□園田:平成10年に日田に帰ってきて青年会議所に入りました。その頃から働いていた私たちの世代というのは、夢を語る時間もないぐらいに日々過ごしていたような気がするのですが。私はたまたま運良くて、先輩方が夢を語っている姿をわきで見させていただいたのでよかったなと思っています。私がここで言われた次の世代を担うんじゃないって、これまで先輩方が夢を語ってきて作り上げられたところにいるということ、次の人たちに伝える役目だなと思うのです。行政の方も人数がだんだん減ってきて、予算を使わずに活動するにはどうすればいいかとずっと考えていた時代を過ごしてきました。で

もこの席に着いて、夢の話ししかない。やっぱりこれだと思うんですよね。私が今本当に仲間たちとやるのは、どれだけ夢を語り合える場所とか、時間とかそういうのを作っているのかという気がしています。でも、今の自分らの世代や、各団体の若い人たちは、夢を描くのが苦手というか、下手ですね。非現実的なことをどんどん思い描く方が現実的になっていくというのは、今日のお話を聞いたら本当にそう思いますので、夢を語り合って、一つずつでも実現していったらいいなと思っています。九州の若い人たちと、夢をとにかく語ろうと思いました。

□田上:竹島部長、今日の感想とこれからの官民連携に期待することをお話いただければと思います。

□竹島:川をフィールドとして活動し、さらに流域、九州全体へと発展いただいたのがよく分かりました。河川協力団体制度を活用し、我々も知恵を出したいと思いますが、継続的で安定した活動というものができていけばと本当にいいなと思います。

□田上:今日はありがとうございました。

田上 敏博  
九州河川協力団体連絡会議 事務局長  
(一社)北部九州河川利用協会 専務理事



い 濱崎 勝  
九州河川協力団体連絡会議 相談役  
NPO法人天明水の会 前理事長  
九州河川協力団体連絡会議初代代表。緑川流域のNPO法人、住民団体、行政等が一体となった「緑川流域会議」発足に尽力され、次世代へのパトナタッチを行った。ウィットに富み、心に響く言葉で多くの人を魅了する。



駄田井 正  
九州河川協力団体連絡会議 顧問  
NPO法人筑後川流域連携倶楽部 理事長  
九州河川協力団体連絡会議初代幹事。流域の魅力を地域の経済活性化に活かすことを提案し、チャレンジし続ける。リバーツーリズム、三大暴れ兄弟川の縁組交流など、数多くのプロジェクトを実践されている。



野見山 ミチ子  
九州河川協力団体連絡会議 顧問  
NPO法人直方川づくりの会 前理事長  
九州河川協力団体連絡会議初代幹事。「川づくりは人づくり」をモットーに、大好きなふるさとのため、子どもたちのために、夢を描き続けている。優し笑顔が絶えない遠賀川水辺館では、育った子どもたちが、社会人となり魅のように遠賀川に戻ってきている。



中村 周二  
九州河川協力団体連絡会議 代表  
川内川流域連携ネットワーク 代表



園田 匠  
九州河川協力団体連絡会議 副代表  
NPO法人ひた水環境ネットワーク理事長



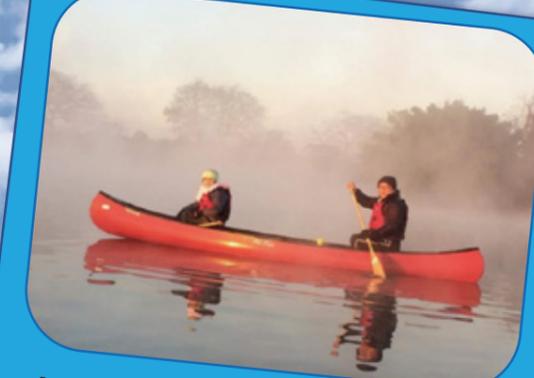
竹島 睦  
国土交通省九州地方整備局河川部長





### カヤック

パドルの両側を交互に漕いで進みます。子どもから大人まで多くの方が楽しめるレクリエーションタイプから競技用まで様々なタイプがあります。  
※写真はレクリエショナルカヤック



### カナディアンカヌー

オープンデッキタイプのもので、片側だけを漕いで進みます。カヤックと比べると漕ぎ方にコツが必要ですが、それが醍醐味！一度体験するとやみつきになるかも!?

## ★川遊び！乗りものいろいろ★



### Eボート

10人も乗れるインフレーターボート。レクリエーションや教育、観光など様々な場所で活用されていますが、水害時には浸水した住宅街での救助にも使われます。



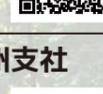
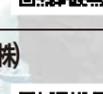
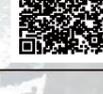
### SUP(サップ) (stand up paddle board)

大きなボードの上に立って漕ぐ比較的新しいアイテム。カヌーやカヤックと比べると視点が高く、いつもと違った景色が楽しめます。また、立つだけではなく座ったり膝をついたりと自由でできるのも特徴です。

九州の河川では、イベントでこのような川遊びの乗り物に出会えますよ！是非体験して下さい！

3	NPO法人直方川づくりの会	5月～10月	カヌー			
8	番匠川流域ネットワーク	6月～10月	カヌー(キウイ)	競技用カヌー	ラフトボート	
2	笹尾川水辺の楽校運営協議会	7月～10月	カヌー	インフレーターボート	5人乗りエンジン付	
23	NPO法人白川流域リバーネットワーク	通年	カヤック	SUP	カナディアンカヌー	シーカヤック
22	NPO法人みずのとらベル隊	通年	カヤック	SUP	カナディアンカヌー	シーカヤック
10	NPO法人五ヶ瀬川流域ネットワーク	8月～10月	カヤック	SUP	カヌー	インフレーターボート
14	川内川流域連携ネットワーク	通年	カヤック	SUP	シーカヤック	

編集後記：九州の川で活動する方々の情報発信と川の魅力を発信する「河川情報誌を作ろう!」と取り組み始めた編集委員。伝わる情報誌をつくることのできるかしらと、少し不安を抱いていましたが、九州河川協力団体の皆さまからいただいた写真を目の前にして、「九州の川の魅力を伝えたい」「川で活動する仲間のカッコよさを伝えたい」という思いで胸がいっぱいとなりました。編集委員のアイデアで作上げた「九州かわとも」です。この冊子を手にとった方々が「やっぱり川に行こう!」とワクワクしながら、今年の春・夏の休日プランづくりをし、川での感動体験ができますように。  
編集委員一同

<b>㈱有明測量開発社</b> 〒861-4108 熊本市南区幸田 2-7-1		<b>九州電力㈱ 水力発電本部</b> 〒810-8720 福岡市中央区渡辺通二丁目1番82号		<b>㈱西技計測コンサルタント</b> 〒826-0041 田川市弓削見立 3175
<b>㈱池田建設</b> 〒861-5401 玉名市天水町小天 7371		<b>㈱共同技術コンサルタント</b> 〒880-0824 宮崎市大島町山田ヶ窪1926番地1		<b>㈱西日本科学技術研究所</b> 〒780-0812 高知市若松町9番30号
<b>いであ㈱ 九州支店</b> 〒812-0055 福岡市東区東浜 1-5-12		<b>㈱建設技術研究所 九州支社</b> 〒810-0041 福岡市中央区大名 2-4-12		<b>西日本技術開発㈱</b> 〒810-0004 福岡市中央区渡辺通1丁目1番1号
<b>応用地質㈱ 九州事務所</b> 〒811-1302 福岡市南区井尻 2-21-36		<b>国際航業㈱ 九州支社</b> 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 3-6-3		<b>日鉄鉱コンサルタント㈱ 福岡支店</b> 〒820-0053 飯塚市伊岐須字井手浦1番356号
<b>㈱大本組 九州支店</b> 〒810-0041 福岡市中央区大名 2-4-30 西鉄赤坂ビル		<b>五洋建設㈱ 九州支店</b> 〒812-8614 福岡市博多区博多駅東 2-7-27		<b>日本工営㈱ 福岡支店</b> 〒812-0007 福岡市博多区東比恵 1丁目2番12号
<b>㈱奥村組 九州支店</b> 〒805-8531 北九州市八幡東区山王 2-19-1		<b>砂防エンジニアリング㈱</b> 〒350-0033 埼玉県川越市富士見町 31-9		<b>㈱ニュージェック</b> 〒531-0074 大阪市北区本庄東 二丁目 3-20
<b>㈱柿原組</b> 〒810-0022 福岡市中央区薬院 3-4-21		<b>第一復建㈱</b> 〒815-0031 福岡市南区清水 4丁目 2番8号		<b>㈱不動テトラ九州支店</b> 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 4-1-1
<b>技研興業㈱ 九州営業所</b> 〒812-0007 福岡市博多区東比恵 2-20-25		<b>㈱大進</b> 〒890-0016 鹿児島市新照院町 21番7号		<b>松尾建設㈱(福岡本社)</b> 〒810-8506 福岡市中央区薬院三丁目 4番9号
<b>㈱九州開発エンジニアリング</b> 〒862-0912 熊本市東区錦ヶ丘 33番17号		<b>中央開発㈱ 九州支社</b> 〒814-0103 福岡市城南区鳥飼 6-3-27		<b>松本技術コンサルタント㈱</b> 〒871-0161 中津市上池永 1285-10
<b>九州建設コンサルタント(株)</b> 〒870-0946 大分市大字曲 936-1		<b>㈱東京建設コンサルタント 九州支社</b> 〒812-0016 福岡市博多区博多駅前 2-12-3		<b>三井共同建設コンサルタント(株)九州支社</b> 〒812-0013 福岡市博多区博多駅前 2丁目14番1号
<b>㈱九州建設マネジメントセンター</b> 〒812-0013 福岡市博多区博多駅前 2丁目5-19		<b>飛島建設㈱ 九州支店</b> 〒810-0004 福岡市中央区渡辺通 5-14-12		<b>㈱牟田建設</b> 〒842-0103 神埼郡吉野ヶ里町大曲 1756

